

# 不動産所得が赤字で、給与所得がある方の記載例

給与所得について年末調整を受けた方で、他に赤字の不動産所得がある場合

**手順1**  
5ページ参照

青色申告者は、青色の文字を○で囲みます。

**手順2**  
6ページ参照

**手順3**  
12ページ参照

収入金額等		所得金額		所得から差し引かれる金額	
事業等	7	事業等	1	医療費控除	11
業農	8	業農	2	社会保険料控除	12
不動産	9	不動産	3	生命保険料控除	14
配当	10	配当	4	地震保険料控除	15
給与	11	給与	5	寄附金控除	19
雑	12	雑	6	寡婦、寡夫控除	18
総合課税	13	総合課税・一時	8	勤労学生、障害者控除	20
一時	14	合計	9	配偶者(特別控除)	21
その他	15	雑損控除	10	扶養控除	22
総合課税	16	医療費控除	11	基礎控除	24
長期	17	社会保険料控除	12	合計	25
一時	18	生命保険料控除	14		
その他	19	地震保険料控除	15		
総合課税	20	寄附金控除	19		
一時	21	寡婦、寡夫控除	18		
合計	22	勤労学生、障害者控除	20		
		配偶者(特別控除)	21		
		扶養控除	22		
		基礎控除	24		
		合計	25		

  

税		税金		その他	
課税される所得金額	26	配当控除	28	配偶者の合計所得金額	49
(①-②)又は第三表上の③に対する税額又は第三表の④	27	子	29	専従者給与(控除)額の合計額	50
		配当	30	青色申告特別控除額	51
		給与	31	前年一時所得等の前年課税所得額の源泉徴収税額の合計額	52
		雑	32	未納付の所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	53
		総合課税	33	本年分で差し引く繰越損失額	54
		長期	34	平均課税対象金額	55
		一時	35	変動・臨時所得金額	56
		その他	36	延納・滞納出額	57
		合計	37	延納・滞納出額	58
		復興特別所得税額	41		
		所得税及び復興特別所得税の額(④+④)	42		
		外国税額控除	43		
		所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	44		
		所得税の中間納税額	45		
		所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額(第1期分・第2期分)	46		
		所得税及び復興特別所得税の第1期分の税額	47		
		還付される税金	48		
		合計	49		
		合計	50		
		合計	51		
		合計	52		
		合計	53		
		合計	54		
		合計	55		
		合計	56		
		合計	57		
		合計	58		

**手順4**  
21ページ参照

○黒字の場合…  
100円未満の端数を切り捨てた金額(黒字の金額が100円未満の場合は「0」)を記入します。

○赤字の場合…  
金額の頭に「△」又は「-」をつけてそのままの金額を記入します。

**手順5**  
25ページ参照

該当する事項がある方のみ記入します。

- ◎ 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから記入します。
- ◎ 申告書は、黒いインクのボールペンで、強く記入します。  
※ この記載例では、記入した部分を便宜上青色で表示しています。
- ◎ 申告書の該当する箇所は必ず記入します。
- ◎ 2枚目は複写式の控えになっていますが、取り外して使用しても差し支えありません。申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。
- ◎ この記載例では、「平成28年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書B用」の該当ページを示しています。詳細については、「平成28年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書B用」を参照してください。
- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にならって、マス目の中に丁寧に記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にならって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にならって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。

記入例①

縦線1本 すきまをあける 上に突き抜ける 角をつくる 閉じる

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

記入例②

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

記入例③

8	0	0	0	0
<del>7</del>	<del>0</del>	<del>0</del>	<del>0</del>	<del>0</del>

【ご注意】

- ◎ 給与と所得者や公的年金等の雑所得のある方は、支払者から受領した「給与所得の源泉徴収票（原本）」や「公的年金等の源泉徴収票（原本）」を添付書類台紙に貼って提出しなければなりません。
- ◎ 事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行っている方は、総収入金額及び必要経費の内訳を記載した「青色申告決算書」や「収支内訳書」を申告書と一緒に提出しなければなりません。

手順1  
5ページ参照

手順2  
6ページ参照

24ページ参照

手順6  
26ページ参照

平成 28 年分の 所得税及び復興特別所得税の確定申告書 B

整理番号 FA0076

住所 〇〇市△△町×-××-×  
 住居 番号 〇〇〇〇  
 フリガナ 氏名 国税 太郎

○ 所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
給与	給料 〇〇産業株式会社	7,140,000	169,500

○ 雑所得 (公的年金等以外)、総合課税の配当所得・譲渡所得、一時所得に関する事項

所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等	差引金額

○ 特別適用条文等

○ 事業専従者に関する事項

事業専従者の氏名	個人番号	続柄	生年月日	従事月数・程度・仕事の内容	専従者給与(控除額)

○ 住民税・事業税に関する事項

16歳未満の扶養親族  
 扶養親族の氏名 国税 二郎 子 生年月日 20.6.1

○ 控除対象配偶者や扶養親族、事業専従者などのマイナンバー (個人番号) も記入する必要があります。

○この申告書は二枚目が控用複写式となっております。

第二表 平成二十八年度分除用 (第二表は第二表と縦に提出してください。源泉徴収票、国民年金除用、生計除用、扶養親族除用、扶養親族除用、専従者給与等)を貼付してください。

手順3  
12ページ参照

※ 記載例中における社会保険料の金額は、実際の金額とは異なります。

【参考】【給与所得の源泉徴収票】

平成28年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者		住所又は居所		○○市△△町×-××-×		(受給者番号)			
						(役職名)			
						氏名		コケセイ タロウ	
						氏名		国税 太郎	
種別	支払金額	前年所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額					
給与・賞与	千円 714000	千円 5226000	千円 2589196	千円 169500					
控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額	控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く)		社会保険控除の額		障害者の数 (本人を除く)		非居住者である親族の数	
有		特定 若人 その他		社会保険料等の金額		障害者の数		非居住者である親族の数	
○		1 0		105000		1		0	
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額			
千円 1073196		千円 105000		千円 21000		千円			
(摘要)									
生命保険料の金額の内訳		生命保険料の金額		介護医療保険料の金額		新築増価金等控除の金額		非居住者である親族の金額	
千円 25,000		千円 35,000		千円 90,000		千円		千円 25,000	
住宅借入金等特別控除の額の内訳		住宅借入金等特別控除の額		住宅借入金等特別控除の額		住宅借入金等特別控除の額		住宅借入金等特別控除の額	
千円		千円		千円		千円		千円	
(フリガナ) 氏名		コケセイ タロウ		配偶者の合計所得		国民年金保険料等の金額		国民年金保険料等の金額	
(フリガナ) 氏名		国税 良子		千円		千円		千円	
(フリガナ) 氏名		コケセイ イチロウ		16歳未満の扶養親族		(フリガナ) 氏名		コケセイ ジロウ	
(フリガナ) 氏名		国税 一郎		1		(フリガナ) 氏名		国税 二郎	
(フリガナ) 氏名				2		(フリガナ) 氏名			
(フリガナ) 氏名				3		(フリガナ) 氏名			
(フリガナ) 氏名				4		(フリガナ) 氏名			
未成年者		氏名		中絶・退職		受給者生年月日			
成人		氏名		28		○ 48 11 16			
支払者		住所(都府)又は所在地		○○区○○ ×-×-×					
		氏名又は名称		○○産業株式会社		(電話番号) ××-×××××-××××			

(参考)【収支内訳書(不動産所得用)】

F A 0 3 2 3

平成 28 年 分 収 支 内 訳 書 (不 動 産 所 得 用) (あなたの本年分の不動産所得の金額の計算内容をこの表に記載して確定申告書に添付してください。)

住所 〇〇市△△町X-XX-X 氏名 コロシ タロウ 国税 依頼 依頼 所在地 (氏名) (名称) (名称) (名称)

職業 会社員 電話番号 XX-XXXX-XXXX 電話番号

提出用 (平成二十五年分以降適用) この収支内訳書は機械で読み取りますので、黒のボールペンで書いてください。

平成 29 年 2 月 16 日 (自 1 月 1 日 至 12 月 31 日)

科 目	金 額	内 容
収入		
① 貸 賃 料	8440000	
② 礼金・権利金	2000000	
③ 名義事務料		
④ 小 計 (①+②)	2000000	
⑤ 計 (①+②+③)	8640000	
経費		
⑥ 給料賃金		
⑦ 減価償却費	3277080	
⑧ 地代家賃		
⑨ 借入金利子	2500000	
⑩ 租税公課	2450000	
⑪ 損害保険料	2500000	
⑫ 雑 費	999992	
⑬ 小 計 (⑦~⑫)	3780000	
⑭ 計 (⑦~⑫+⑬)	9557080	
⑮ 専従者控除額 (⑮-⑭)	4917080	
⑯ 所得金額 (⑮-⑭)	4917080	

○不動産所得の内訳 (書ききれないときは、適宜の用紙に書いて内訳書に添付してください。)

貸 賃 料 等 の 別	不 動 産 の 所 在 地	賃 借 人 の 住 所 ・ 氏 名	賃 貸 約 期 間	賃 付 面 積	本 年 中 の 収 入 金 額	保 証 金 額 (期末残高)
アパート	住宅用 〇〇市△△町 X-XX-X		自 28 年 4 月 30 日 至 29 年 3 月 31 日	56.4	100,000	1,000,000
			自 28 年 4 月 30 日 至 29 年 3 月 31 日	56.4	100,000	1,000,000
			自 28 年 4 月 30 日 至 29 年 3 月 31 日	56.4	100,000	1,000,000
			自 28 年 4 月 30 日 至 29 年 3 月 31 日	56.4	100,000	1,000,000
アパート	住宅用 〇〇市△△町 X-XX-X		自 28 年 4 月 30 日 至 29 年 3 月 31 日	32.5	80,000	800,000
			自 28 年 4 月 30 日 至 29 年 3 月 31 日	32.5	80,000	800,000
			自 28 年 4 月 30 日 至 29 年 3 月 31 日	32.5	80,000	800,000
			自 28 年 4 月 30 日 至 29 年 3 月 31 日	32.5	80,000	800,000
計					3,440,000	2,000,000

○給料賃金の内訳

氏 名 (年勤)	従 事 月 数	給 料 賃 金	合 計	所 得 税 及 び 寓 員 特 別 所 得 税 の 額 累 徴 収 税 額
( 〇 )				
その他 ( 人 分 )				
計				

○事業専従者の氏名等

氏 名 (年勤)	続 柄	従 事 月 数
( 〇 )		
延べ従事月数		

【税務署整理欄】

※⑮欄が赤字の方で、「土地等を取得するために要した負債の利子の額」を必要経費に算入した場合には、次に掲げる区分に応じてそれぞれ次の金額を申告書の③欄に記入します。

この場合には、記入する金額の頭部に「⑮」と表示してください。

- 土地等を取得するために要した負債の利子の額が、不動産所得の赤字を超える場合・・・「〇」
- 土地等を取得するために要した負債の利子の額が、不動産所得の赤字を超えない場合・・・その赤字のうち、その負債の利子の額に相当する金額を除いた赤字の金額